

農地除染実証事業における水稲実証栽培で収穫された米について

1. 農地（水田）の除染・放射性セシウム吸収抑制対策

目的：空間線量を下げる、農作物への移行を低減する。

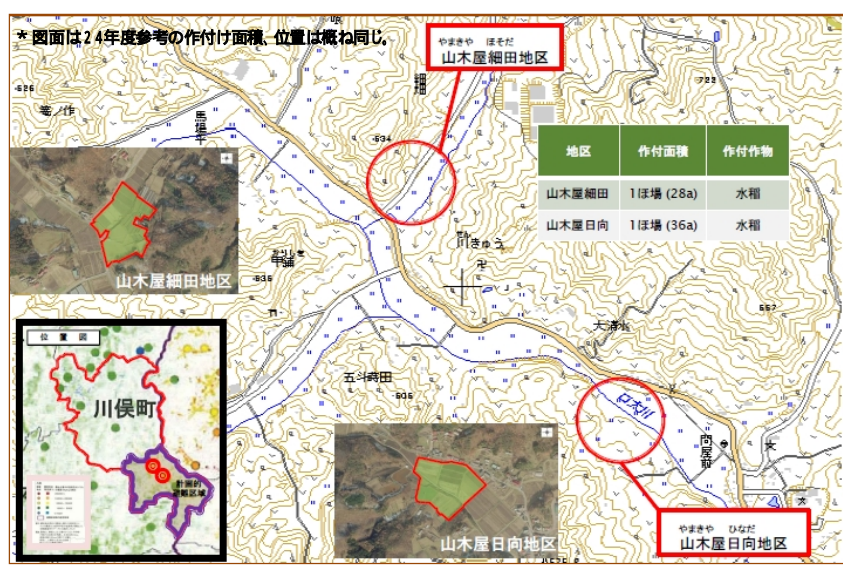
- 対策：
- ・表土の削り取り：セシウムが吸着した地表から3cm（または5cm）の土を削り取る。
 - ・塩化カリウムの施用：放射性セシウムの吸収抑制効果のある塩化カリウムを施用。

2. 試験作付けの実施場所（平成25年5月～11月）

【川俣町】

避難指示解除準備区域の2カ所

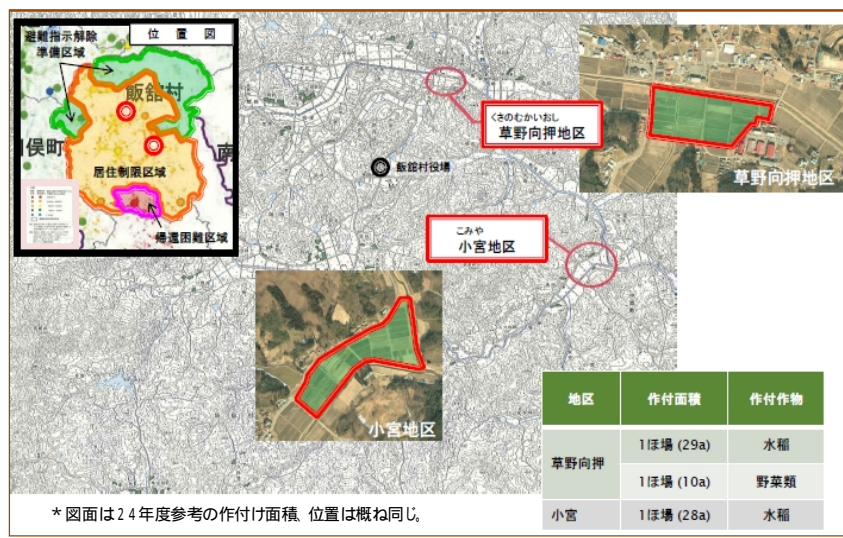
- ・山木屋細田地区：水稲30a
- ・山木屋日向地区：水稲30a



【飯館村】

居住制限区域の2箇所

- ・草野・向押地区：水稲30a
- ・小宮地区：水稲30a



合計：1.25ha（飯館村長泥地区5aの試験栽培を含む）

3. 試験作付け米の検査体制・結果

福島県で実施されている全量全袋検査を実施し、検出限界未満であることを確認しています。

平成25年度の検査結果

【川俣町】

- ・山木屋細田地区 水稻：ND (< 25Bq/Kg) 検出限界未満
- ・山木屋日向地区 水稻：ND (< 25Bq/Kg) 検出限界未満

【飯舘村】

- ・草野・向押地区 水稻：ND (< 25Bq/Kg) 検出限界未満
- ・小宮地区 水稻：ND (< 25Bq/Kg) 検出限界未満

F U K U S H I M A M E G U M I

ふくしまの「米」

全量全袋検査

安全・安心の取組み

福島県では、最新のベルトコンベア式放射性セシウム濃度検査機器を使用して、全量全袋検査※を実施し、食品衛生法の定める基準値(100ベクレル/kg)以下と確認された玄米のみを出荷・流通しています。

※厚生労働省が定める「食品中の放射性セシウムスクリーニング法」に基づき実施しています。

「米」のベルトコンベア式全量全袋検査の流れ

システムの利用方法【玄米】

ふくしまの恵
<http://fukumegu.org/mieru>
 【お問い合わせ先】
 ふくしまの恵み安全対策協議会
 Tel 024-521-8446

【参考】除染特別地域：国による除染の実施地域

避難指示解除準備区域：

- ・年間積算線量20ミリシーベルト以下となることが確実に確認された地域
- ・通過交通や住民の一時帰宅、事業再開等が可能

居住制限区域：

- ・年間積算線量が20ミリシーベルトを超えるおそれがあり、住民の被ばく線量を低減する観点から引き続き避難の継続を求める地域
- ・通過交通や住民の一時帰宅、例外的な事業再開等が可能

帰還困難区域：

- ・5年間を経過してもなお、年間積算線量が20ミリシーベルトを下回らないおそれのある地域。

